

総 評

総合と理科がやや難しかったですが、全体としては標準的な難易度の出題でした。

入試本番まで残りわずかとなりましたが、ここからはあまり手を広げず、重要事項の定着をはかりましょう。

今回のようなテストにしる、問題集にしる、できなかったところや、知識があやふやなところは、そのままにせず、見直しや解き直しを行うことが大切です。ミスや間違いはチャンスと考え、実力をのばすきっかけにしてください。

第1回の試験でも書きましたが、入試では「満点をねらう」のではなく、「解ける問題を確実に得点する」ことがポイントです。志望校の出題傾向やレベルをつかみ、弱点の補強や重要事項の確認などの準備をしっかり行って下さい。

国 語

やや易しい出題でした。

㊦は、問三(2)と問五が難しかったようです。問三(2)は、「監督と約束したことをすっかりわすれ」が抜けている解答が多かったです。問五は、解答の文末が整っていないものが多くありました。問題文の問い方に合った答え方ができているかどうかを、よく見直すことが大切です。㊦は、問一(5)「収める」という漢字の書きと問二の四字熟語が難しかったようです。「おさめる」には、「収める」のほかに「治める」「納める」「修める」といった漢字があります。このような同じ読みの漢字を覚えるときには、それぞれの意味や使い方もいっしょに覚えるとよいでしょう。㊦は、問五と問七が難しかったようです。問五は、指定語句の「知恵」が抜けている解答が見られました。問題文の条件をしっかりと確認しましょう。

算 数

標準的な難易度の問題で、よく得点できています。

①の計算でまちがえた人は必ずふくしゅうし、同じまちがいをふせぎましょう。②の(2)、比の利用は非常に重要です。いろいろな場面で使えるように準備しましょう。⑤の図形は、(1)の角度の得点率が予想より低くなりました。直角をはさむ2辺の長さが等しい三角形では、等しい角の大きさが45度であることに注意しましょう。(3)は、(2)で答えた合同な図形の面積が等しいことを利用しましょう。

⑥の速さは、区間に分けて、片方が折り返した時点でのもう一方の位置を考えることがポイントでした。

入試に向けて大切なのは、問題の見方や考え方です。間違えた問題を復習するときには、じっくり読んで「考え方」を理解するように心がけましょう。

社 会

標準的な出題でした。

①と②は地理分野の出題でした。基本的な問題はよくできていましたが、②(1)の食料自給率の高い順に並べかえる問題の得点率が低くなりました。③は公民分野の出題でした。基本的な問題が多く、よくできていましたが、(4)の国会の問題は得点率が低くなりました。衆議院と参議院のちがいは入試でもねらわれやすいので、おさえておきましょう。④と⑤は歴史分野の出題でした。④(4)、⑤(3)の場所を選ぶ問題、⑤(7)のできごとが起こった時期に関する問題の得点率が低くなりました。歴史では、そのできごとが起こった場所が問われることがあるので、まちがえた人は地図で確認しましょう。また、年代に関する問題が苦手な人は、年表を利用して歴史のおおまかな流れをつかむようにしましょう。

理 科

難しい出題でした。

①は、一部応用的な出題もありましたが、全体によく得点できていたようです。②は、(2)と(3)がやや難しくなりました。どちらも月の形や位置について、思考力が問われる問題でした。③(2)は、図を読み取って考える問題でしたので難しかったようです。また、(3)と(4)は得点率が低くなりましたが、ポイントとなる内容ですのでしっかりと復習しましょう。④は、目新しい内容で複雑に感じられたかもしれませんが、文章を正しく読み取れば正解にたどり着くのは難しくなかったと思います。⑤は、文章の量が多くて、実験の設定もやや複雑で、難しく感じたと思います。「てこ」の基本的な考え方をもとにしっかりと思考できるかがポイントでした。⑥(4)をまちがえた人は教科書を確認してください。

総合(適性)

前半の大問に時間がかかったためか、③や④の得点がのびませんでした。最初に全体の分量を見きわめ、時間配分を考えながら取り組むようにしましょう。

①(3)は、札幌開成中でもよく出題される形式の文章記述問題です。指定されたすべての条件を満たし、だれにでも伝わるように表現する力を身につけましょう。

②と④は、手順の読み取りが難しかったようです。このような問題は設問文をしっかりと読むことが大切です。ポイントとなる内容を見逃さないようにしましょう。

③は、資料の読み取りを中心とした出題でした。(2)や(3)は資料のつながりを理解して考えることが必要でした。複数の資料の関係を読み解く力を身につけましょう。

文章記述問題では、文章を書いたあとに必ず読み直し、誤字や文法的な誤りがないかどうか点検しましょう。